

8605 「先生くらい女を研究するには・・・

「先生くらい女を研究するには時間とお金が・・・」

「ぼくは小説を書くため、女を見詰めているだけだよ。」

「うそだあ。やっぱり、根っから好きでないとそうは書けないでしょう。」

「それはそうだけど。」

「私も根っから男が好きなんだと思うんです。」

「それはわかるよ。顔を見てるとわかる。」

「顔を見てわかります？」

「先天性だね。さらに、非回復性だな。」

「非回復性？ 一生引きずるんですか。」

「引きずっていきなさい。いい女優になるよ。」

渡辺淳一『女優問診 12の素顔（名取裕子）』

[許容訳例]

“To study women as thoroughly as you, a lot of time and money must be…”

“I watch women only in order to write novels.”

“I don’t believe it! I think you write well about women because you’re basically fond of them.”

“That’s so, but…”

“I feel I’m basically fond of men myself, too.”

“Yes, I know. I can tell from your face.”

“Could you tell just by looking at my face?”

“Yes. You’re congenitally fond of men. What’s worse, you’ll never recover.”

“Never recover? Do I have to drag it around all my life?”

“Drag it around, and you’ll become a better actress.”

[翻訳例]

“For someone to study women as thoroughly as you do, time and money are surely…”

“It’s just that I’m a novelist, so I have to observe women carefully.”

“I don’t believe it! I’m sure you couldn’t write about women like that unless you were basically fond of them.”

“Well yes, That’s true…”

“I’m the same--I’m basically fond of men, I feel.”

“You don’t need to tell me. One can see it in your face.”

“Does it really show in my face?”

“Yes, you’re *congenitally* fond of them. There’s no chance of a cure, either.”

“No chance…? You mean I have to drag it around with me all my life?”

“Resign yourself to it. It’ll make a better actress of you.”

■「先生くらい女を研究するには時間とお金が・・・」(8605)

★「先生くらい」を「先生と同じくらい」と解釈すると「先生と同じくらい徹底的に・・・」(as ... as you (do))と副詞が必要になります。study の付く副詞ですぐ思いつくのは study hard ですが、hard は‘一生懸命に勉強[研究]する’、つまり、勉強・研究する姿勢を表現する言葉です。ところが、ここで言っていることは、その対象を‘徹底的に’という感じです。したがって、as thoroughly as you (do)くらいでしょう。日本語と同じように副詞を使わないとすると、考えられる方法は the way you do でしょう。この場合の the way...という表現には、単にやり方をいうだけでなく‘一生懸命に・徹底的に’というニュアンスが入ってきます。

★「女を研究するには」の「女」は無冠詞複数で to study women ですが、... as you do と続くので、For someone to study...のように you do に対応する主体を入れたくなります。なお、study の代わりに make a study of を使うことが出来ます。do research in は学問的な研究ですから、ここでは無理です。また inquire into は「調査する」という感じで、たとえば、The police are inquiring into the cases of the accident.のように使うか、「(学問的に) 研究する」の意味で When he was young, he decided to inquire into the nature of the atom.のように使います。これも、ここでは適切ではありません。

★「時間とお金が・・・」は a lot of time and money...では、英語としてちょっと物足りないと思います。ここは「(きっと) 時間とお金が (いるでしょう)」という感じですから、a lot of time and money must be...とか、あるいは must be necessary まで入れてもいいでしょう。他には a lot of time and money are surely (essential; necessary) ...とも言えます。surely...? と疑問符を加えると、「きっと・・・でしょうね?」と相手に確認するようなニュアンスになります。なお、他にもいろいろおな書き方が可能で、たとえば、must be necessary の代わりに you need...も使えます (you は一般人称としての you です)。また、To study...全体を主語にして To study... costs you...という言い方も可能です。

■「ぼくは小説を書くため、女を見詰めているだけだよ。」(8605)

★「小説を書くため」ですが、後ろの「だけ」と組み合わせて文字通りに変換して only to write novels としても間違いではありませんが、only to...は、たとえば、I went to his house only to find him out.のように結果を表す場合があるので、曖昧さをなくすためにも only in order to write novels とする方がいいです。ただ、この「小説を書くために」は、厳密には文字通り in order to write novels ではなく so that I can write novels という感じ、つまり、「結果的に・・・できるように」(e.g. You ought to go to bed now so that you will be fresh in the morning.)という感じです。それから、この「僕は小説を書く」は、たとえば、「父は英語を教えている」を My father is an English teacher.とすることができるように、I’m a novelist.と変換することが出来ます。すると I’m a novelist, so...という変換も可能です。

★「(女を) 見詰める」は、ここでは‘何か結論を得るために観察する’というニュアンスに近い observe (carefully)とか、‘何が起きるか観察する’という意味の watch(carefully)でしょう。gaze には‘観察する’というニュアンスがなく、‘ただ(しばらく)眺めている’という感じで、ここでは駄目です。

●語法 (ただ・・・だけ)

「ぼくは小説を書くため、女を見詰めているだけだよ」は「(それほど深い意味があるわけではなく) ただ・・・だけだ [・・・にすぎない]」ということですが、こういう場合に使う表現として It's just that...があります。たとえば、It's not that Tom isn't a very nice person. It's just that I don't want to marry him. (トムがいい人じゃないって言っているわけじゃない。ただ彼とは結婚したくないだけよ。)(マケーレブ・岩垣編著『英和イディオム完全対訳辞典』(朝日出版社)) のように使うのですが、これを利用すると It's just that I observe women (carefully) so that I can write novels.とか、It's just that I'm a novelist, so I have to observe women carefully.とかに変換することが出来ます。なお、情報の比重は変わります(女性を見詰めないと、小説が「書けない」ことを強調しているように読み取れます)が、It's just that I couldn't write novels without watching women (carefully).も可能です。

■「うそだあ」(8605)

★「うそだあ」は You tell a lie.では、この日本語のニュアンスはでません。それに、英語としても、会話の場合は You're telling a lie.とか You're lying.と進行形にしないと、非常に堅い感じになってしまいます。この日本語のニュアンスを出すのに一番いいのは I don't believe it!でしょう。他には Come off it!という言い方もあります。これは‘もう長いつきあいだからそんなこと言っても信じられない・信じろと言っても無理だ’という感じです。ただアメリカ人が使うかどうかわかりませんし、ちょっと特殊なイディオムなのですが、ニュアンスとしてはこの場合に非常に近いと思います。

■やっぱり、根っから好きでないとそうは書けないでしょう。」(8605)

★「やっぱり」は非常に難しい。辞書には(just) as one expected[suspected; thought] (自分も前からそう思っていたが)とか、あるいは sure enough (よくある例だが); still (それでもなお) などが出ていますが、いずれも、ここの「やっぱり」という表現に比べると、どうしても強い感じになってしまいます。ここでは I think...の I をイタリック体にするか I'm sure...くらいで「やっぱり」に近い感じになると思います。

★「根っから」は、辞書には by nature とか、アメリカでよく使われる instinctively などが出ていますが、「先天的に・生まれつき」という感じで、男なら当たり前ということなので、ちょっとここではおかしいです。ここでは basically (根本的に・本質的に)くらいでいいのではないかと思います。

◆like と be fond of

「(根っから女が) 好き (でないと)」の「好き」という日本語も訳すのが難しいと思います。 「好き」で頭に浮かぶのは like ですが、たとえば、He likes women.という場合、単に男

が自然に性的対象として女に惹かれるということではなく、相手（女）を客観的に観察し、よく知った上で精神的にも好きである、という意味合いになります。たとえば、Daring, I love you. I like you, too.という言い方も出来ますし、あるいは I don't just love you. I like you.のように、場合によっては likeの方が深い意味になることがあります。（また、He likes women.は‘ホモではない’という意味になることもあります。）したがって、ここの「好き」というのはもっと限定した意味合いで be fond of を使えばいいでしょう。be fond of というのは、たとえば、Let's part before we get fond of each other.（情が移らないうちに別れよう）というように、‘何か精神的な愛着をおぼえる’という意味合いの場合と、もう一つは、たとえば、He is very fond of drink.というように、その人のなかなか止められない好みを指す場合があります。ここの「（根っから女が）好き」というのは後者の be fond of に相当すると思います。

●「[・・・でないと]・・・出来ない」（条件）→「・・・だから・・・出来る」（因果）

「好き [でないと]」は unless とか if...not でしょう。ですから「根っから好きでないと」は unless you were basically fond of them(=women)です。これに続く「そうは書けない」は「そう [あのよう]に」うまくは書けない」ということでしょうから、unless に合わせると、you couldn't write (well) about women like that です。well は加えなくてもこの文は‘女というものをうまく書く’という感心した気持ちを含んでいます。なお、この条件文は、裏を返せば「・・・だから・・・出来る」という因果関係を内包しているわけですから、それを表に出して you write well about women because you are basically fond of them と考えることも可能です。ただし、翻訳とは言えません。

■「それはそうだけど。」(8605)

★「それはそうだけど」は You're right, but...としても英語としてはおかしくありませんが、たとえば、but をとって I suppose you're right...と補いたい感じです。この I suppose というのは‘何か不本意ながら認めざるを得ない’というニュアンスが入ります。他には That's so, but...とか Well yes, that's true...とも言えます。

■「私も根っから男が好きなんだと思うんです。」(8605)

●文解釈と翻訳

この「私も根っから男が好きなんだと思うんです」が、この文章で一番難しいところだと思います。上で検討した語彙・表現を使用して、文字通り訳すと I think I'm also basically fond of men.になりますが、これでは言う必然性がないのに、単に「私も・・・なんです」と唐突に打ち明けていることになります。しかし、そうではなく、ここは「私も」の中に「実は私も・・・だからよくわかります」というニュアンスが入っているように思われます。とすると、せめて I feel I'm basically fond of men myself, too.とするか、あるいは、「私も」の「も」という感じを英語でも最初に出して I'm the same—I'm basically fond of men, I feel.くらいにしたいです。I'm the same は It's like me ととも言えますが、これが「私も」に相当することになります。ここは、どうしても先に「も」を訳して置かないと、全体としてニュアンス

がうまく出てこないと思います。こういう文章を翻訳する場合、人の気持ちをつかんで表現することが大切で、ここは「私の場合は女だから男が好きだということになるけど、基本的にはあなたと同じように（根っから）好きだと思うわ」という感じを英語でも出すわけです。

■「それはわかるよ。」(8605)

★「それはわかるよ」は、文字通り訳せば Yes, I know that. ですが、この文には「そんなこと言わなくてもわかるよ」というニュアンスが含まれているので、You don't need to tell me. と訳すべきでしょう。

■「顔を見てるとわかる。」(8605)

★「顔を見てるとわかる」は I can tell from your face. でもいいし、一般人称を使って「顔を見ると誰にもわかる」という意味で One can see it in your face. としてもいいでしょう。

■「顔を見てわかります？」(8605)

★「顔を見てわかります？」は、文字通りなら Could [Can] you tell just by looking at my face? でいいですが、‘それは顔をみればよくわかる’という時に使う it shows in one's face (顔に書いてある) というイディオムを使って Does it really show in my face? とすることも出来ます。なお、ここで really を加えると「本当に」と訳すほど強くはありませんが、そう言われてちょっと困ったというかちょっと不安な感じで確かめるといったニュアンスが加わります。年上の男に「うそだあ」と言い飛ばしたり、「私も根っからの男好き」とうそぶきながら、「顔に書いてある」と言われて「えっ、本当に？」と不安がるというような感情の起伏を really 一語に込めるわけです。翻訳というのは、このように、言葉を使って会話を立体化するのです。

■「先天性だね。」(8605)

★「先天性だね」には、ちょっとからかったようなユーモラスな感じが含まれていますから、Yes. You're congenially fond of men [them]. とすれば同じような感じになります。

■さらに、非回復性だな。」(8605)

★「さらに」は、ここでは悪い方向で追加するので And what is even worse としても間違いはありませんが、普通、こういう場合は簡単に what's worse と言います。また、次の「非回復性だな」の文尾に…, either としてもいいです。

★「非回復性だな」は you'll never recover とか, your [the] case is helpless あるいは there's no chance of a cure としてもいいでしょう。

■「非回復性？」(8605)

★「非回復性？」は、上で使う文によって異なります。Never recover? とか Helpless? とか No chance? です。

■「一生引きずるんですか。」(8605)

★「一生」は all my life です。

★「引きずる」は drag it ですが around (ずっと) を加えたいです。drag の代わりに trail は、ここでは使えません。trail というのは、普通、比較的軽い物を引きずる場合に使う言葉

です.

★「(引きずる) んですか」は、日本語では表に出ていませんが、自分の望む動作ではない動作をする場合、英語では have to を加えます。ですから、ここでは Does I have to drag it around (with me) all my life? ですが、「・・・するんですか」の感じを出すために you mean を加えて You mean I have to drag it around with me all my life? としたいです.

■「引きずっていきなさい。」(8605)

★「引きずって行きなさい」は次の文との関係で「(そうすれな)・・・」が予測できます。したがって Drag it, and... とすることが出来ます。ただ、「引きずって行く」ことが、いい女優になるための直接的な条件というよりは「(そういう性質は変えようがないのだから) あきらめた方がいいよ」というニュアンスが入っているように思えます。そういう場合によく使う表現の resign oneself to ~ (甘んじて・・・に従う・あきらめる) を使うことが出来ます.

■「いい女優になるよ。」(8605)

★「いい女優になる」は、まだ女優になっていない人になら You'll be a good actress. と言えますが、ここではすでに女優になっている人に対して言うのですから You'll become a better actress. とする方がいいです。さらに、「引きずっていきなさい。いい女優になるよ」を論理に即して書くと If you continue to drag it around with you, then that experience will make you a better actress. となります。この論理性を内包させて簡潔に書くと It'll make a better actress of you. とまとめることも出来ます。